

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	110	国際交流推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	07	文化振興費
担当部課名	阿山支所 総務振興課		細目	102	交際交流推進事業
作成者氏名	森岡 良夫	連絡先	細々目	01	交際交流推進事業
		0595-43-1543			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	市民及び伊賀市に在住する外国人	外国人との交流を通じて、異なる文化についての関心や理解を深め、多文化共生社会を担う市民が増える。		
本年度事業内容	異文化理解の活動を行う阿山国際交流協会の活動を支援するとともに運営補助金を交付した			
開始年度	平成 10 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1	1
	人件費合計(A)	10,800	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	90	87	77
	委託料			
	補助金	90	80	70
	その他		7	7
合計(A+B)		10,890	7,287	7,277
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		10,890	7,287	7,277
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
阿山国際交流協会の会員数	人・団体	91	64	65			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
阿山国際交流協会の会員数	会員・団体を外国籍住民との共生に理解をした人・団体と判断	人・団体	91 目標 ()	64	65
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

増加する一方の在住外国人との共生を図る上で、彼らに必要な情報を提供する必要がある。旧市町村ごとに組織されている国際交流協会を平成19年度を目処に統一を図る。

評価	必要性	4	地域に暮らす外国人の数は年々増加しており、文化や習慣の違いを感じる機会が多くなった。お互いを理解し共生できる社会をつくるため異文化を理解するための活動が必要となっている。旧市町村ごとに組織されている国際交流協会を平成19年度を目処に統一を図る。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		